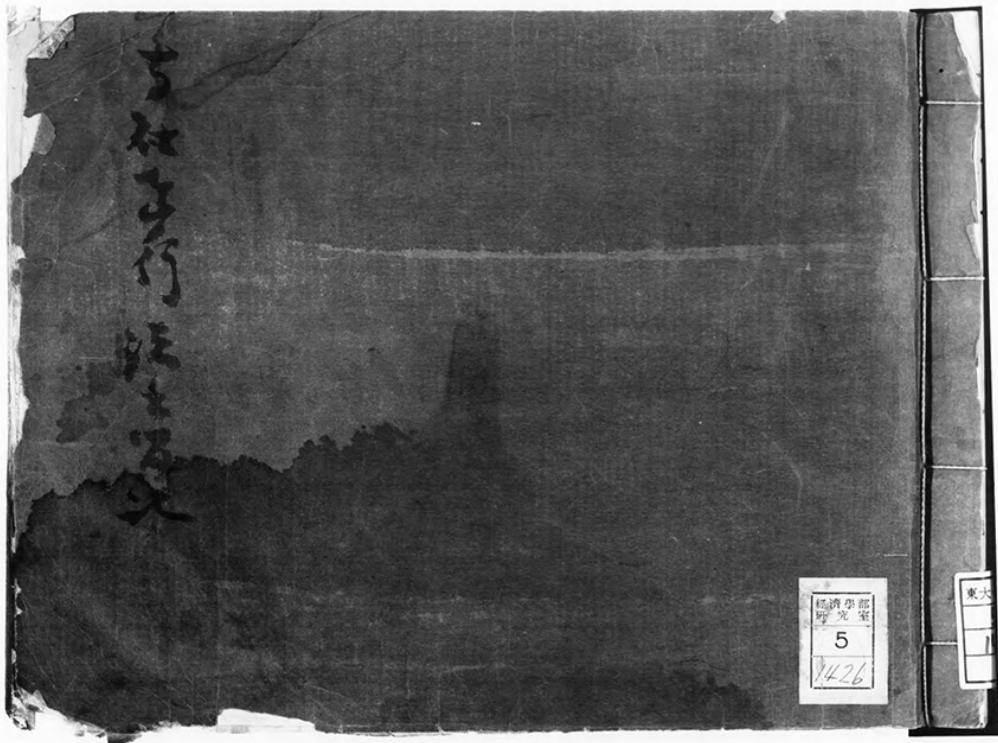


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

経済学部
図書室
5
1426

東大

朱書



39249

青社の部

- 一 山田北下ノ上
- 二 鹿取野ノ助ノ板
- 三 田帳ノ板
- 四 刺札ノ板
- 五 又ノ科ノ板
- 六 水戸殿ノ板
- 七 町家ノ板
- 八 門外ノ板
- 九 山田ノ板
- 十 青達院ノ板
- 十一 青信ノ板
- 十二 青信ノ板
- 十三 青信ノ板
- 十四 青信ノ板

勝由芳

青社
清古
記

朱書

- 一 新地も境も係止り觸
- 二 田畑多所も觸
- 三 在國家許所觸
- 四 百姓支取給
- 五 社藏へ使す事
- 六 俗高の儀所へ使す事
- 七 改宗へ辨
- 八 中山高止る山流へ事
- 九 中野高止る山流へ事
- 一〇 葵津紋高止る事
- 一一 佛像權統高止る事
- 一二 高止る事
- 一三 松岡高止る事
- 一四 高止る事
- 一五 高止る事
- 一六 高止る事
- 一七 高止る事

- 一 中山漢文傳事
- 二 高止る事
- 三 高止る事
- 四 高止る事
- 五 高止る事
- 六 高止る事
- 七 高止る事
- 八 高止る事
- 九 高止る事
- 一〇 高止る事
- 一一 高止る事
- 一二 高止る事
- 一三 高止る事
- 一四 高止る事
- 一五 高止る事
- 一六 高止る事
- 一七 高止る事
- 一八 高止る事
- 一九 高止る事
- 二〇 高止る事
- 二一 高止る事
- 二二 高止る事
- 二三 高止る事
- 二四 高止る事
- 二五 高止る事
- 二六 高止る事
- 二七 高止る事
- 二八 高止る事
- 二九 高止る事
- 三〇 高止る事
- 三一 高止る事
- 三二 高止る事
- 三三 高止る事
- 三四 高止る事
- 三五 高止る事
- 三六 高止る事
- 三七 高止る事
- 三八 高止る事
- 三九 高止る事
- 四〇 高止る事
- 四一 高止る事
- 四二 高止る事
- 四三 高止る事
- 四四 高止る事
- 四五 高止る事
- 四六 高止る事
- 四七 高止る事
- 四八 高止る事
- 四九 高止る事
- 五〇 高止る事
- 五一 高止る事
- 五二 高止る事
- 五三 高止る事
- 五四 高止る事
- 五五 高止る事
- 五六 高止る事
- 五七 高止る事
- 五八 高止る事
- 五九 高止る事
- 六〇 高止る事
- 六一 高止る事
- 六二 高止る事
- 六三 高止る事
- 六四 高止る事
- 六五 高止る事
- 六六 高止る事
- 六七 高止る事
- 六八 高止る事
- 六九 高止る事
- 七〇 高止る事
- 七一 高止る事
- 七二 高止る事
- 七三 高止る事
- 七四 高止る事
- 七五 高止る事
- 七六 高止る事
- 七七 高止る事
- 七八 高止る事
- 七九 高止る事
- 八〇 高止る事
- 八一 高止る事
- 八二 高止る事
- 八三 高止る事
- 八四 高止る事
- 八五 高止る事
- 八六 高止る事
- 八七 高止る事
- 八八 高止る事
- 八九 高止る事
- 九〇 高止る事
- 九一 高止る事
- 九二 高止る事
- 九三 高止る事
- 九四 高止る事
- 九五 高止る事
- 九六 高止る事
- 九七 高止る事
- 九八 高止る事
- 九九 高止る事
- 一〇〇 高止る事

朱書

- 四 百姓の神祇
- 三 古往奉祀の可成るもの
- 二 廟宇附
- 一 古往奉祀
- 三 古往西回忌
- 二 古往抱負及
- 一 古往抱負
- 五 日光の古往奉祀
- 六 作事
- 七 古往奉祀の令多し
- 八 古往奉祀の令多しの一語也
- 九 古往奉祀の令多し
- 十 古往奉祀の令多し
- 十一 古往奉祀の令多し
- 十二 古往奉祀の令多し
- 十三 古往奉祀の令多し
- 十四 古往奉祀の令多し
- 十五 古往奉祀の令多し
- 十六 古往奉祀の令多し
- 十七 古往奉祀の令多し
- 十八 古往奉祀の令多し
- 十九 古往奉祀の令多し
- 二十 古往奉祀の令多し

- 一 古往奉祀の令多し
- 二 古往奉祀の令多し
- 三 古往奉祀の令多し
- 四 古往奉祀の令多し
- 五 古往奉祀の令多し
- 六 古往奉祀の令多し
- 七 古往奉祀の令多し
- 八 古往奉祀の令多し
- 九 古往奉祀の令多し
- 十 古往奉祀の令多し
- 十一 古往奉祀の令多し
- 十二 古往奉祀の令多し
- 十三 古往奉祀の令多し
- 十四 古往奉祀の令多し
- 十五 古往奉祀の令多し
- 十六 古往奉祀の令多し
- 十七 古往奉祀の令多し
- 十八 古往奉祀の令多し
- 十九 古往奉祀の令多し
- 二十 古往奉祀の令多し

朱書

三 古往奉以...
 二 庭後...
 一 堂...
 三 堂...
 二 堂...
 一 堂...

車音律

青社

〇日記...
 〇日記...

救野備...
 〇社...

一 西...
 二 三...
 三 四...
 四 五...
 五 六...
 六 七...
 七 八...
 八 九...
 九 十...

二 〇...
 一 二...
 三 四...
 四 五...
 五 六...
 六 七...
 七 八...
 八 九...
 九 十...

朱書

ノ類有ノ人ナキニシテ觸ルハ下觸ル候日若キナ
此ノノナリノ間ハ知リテ種村村長ト云ハルノ觸
ナリト違テ令化儀候ハナリト云ハルノ事有キ事
ト違テ一違テ事ニ違テ云ハルノ事有キ事有
既初ニ云ハル由村長ノ味成ト云ハルノ事有
亦如觸ル候日由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
此ニ云ハル候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
中ノ事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
初候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有

十一月

觸ル事勢之備

町ノ部一見世ニ云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
事ナリト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有

ト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
ト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有

右ノ通テ事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
ト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
ト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
ト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有
ト云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有

十一月

○劉札ニ云ハル事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有

触ル事勢之備
触ル事勢之備
触ル事勢之備
触ル事勢之備
触ル事勢之備

右ノ通テ事有候ハ由觸ル通テ事ナリト云ハル事有

触ル事勢之備
触ル事勢之備
触ル事勢之備
触ル事勢之備
触ル事勢之備

朱書

云哉清光もすゝ割札寄致すと云々
春之と云々
且南段舟湯控灯と云々
事は海軍官更形新示と云々
此類行示 未見等
此右様より名神志目と云々
又様様より西畑示込人へ後様様任

戊二月

右御書往來は 申上り有る如候
申上り候は 通上り止り候
申上り候は 申上り候
申上り候は 申上り候
申上り候は 申上り候

○又、料、出、給、致、す、候、也

宣旨全書
宣旨全書
宣旨全書
宣旨全書

加茂玉次

右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書
右御書未後候は 宣旨全書

二月

松平大老

朱書

書は向う處書物燒く味紙又ハ科ノ申送致天
 俗子控事ハ下ノ事ニテ其ノ事ハ申送致天ノ
 例其先申ノ事其申右方ノ事其申右ノ事
 例其先申ノ事其申右方ノ事其申右ノ事
 申送致天ノ事其申右方ノ事其申右ノ事
 申送致天ノ事其申右方ノ事其申右ノ事
 申送致天ノ事其申右方ノ事其申右ノ事

呈二月

六 ○ 水戸殿書附合名板

文化十一年二月十日
 水戸殿書附合名板
 御書物取部
 御書物取部

御書物取部
 御書物取部
 御書物取部
 御書物取部
 御書物取部
 御書物取部
 御書物取部
 御書物取部

町名録借地借宅ノ事社務信ノ事

町借地借宅借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事
 借地借宅ノ事社務信ノ事

中七日
 御書物取部

由山(一) 百(一) 漢(一) 天(一) 山(一) 百(一)
多(一) 貴(一) 中(一) 多(一) 貴(一) 中(一) 多(一) 貴(一) 中(一)
折(一) 准(一) 見(一) 見(一) 見(一) 見(一) 見(一) 見(一)
中(一) 氏(一) 困(一) 窮(一) 困(一) 窮(一) 困(一) 窮(一)
古(一) 古(一) 古(一) 古(一) 古(一) 古(一) 古(一)
多(一) 多(一) 多(一) 多(一) 多(一) 多(一) 多(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
赤(一) 赤(一) 赤(一) 赤(一) 赤(一) 赤(一) 赤(一)
右(一) 右(一) 右(一) 右(一) 右(一) 右(一) 右(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)

君(一) 君(一) 君(一) 君(一) 君(一) 君(一) 君(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)

右(一) 右(一) 右(一) 右(一) 右(一) 右(一) 右(一)

一 度(一) 度(一) 度(一) 度(一) 度(一) 度(一) 度(一)
度(一) 度(一) 度(一) 度(一) 度(一) 度(一) 度(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
の(一) の(一) の(一) の(一) の(一) の(一) の(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)
山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一) 山(一)

朱書

尚ら且亦由是歎し... 世に於て... 我々の...
... 御書に... 御書に... 御書に...
... 御書に... 御書に... 御書に...

十、青蓮院宮史記...
... 史記... 史記... 史記...

青社奉仍

青蓮院宮史記... 奉仍... 奉仍... 奉仍...
... 奉仍... 奉仍... 奉仍...
... 奉仍... 奉仍... 奉仍...

志守百信... 奉仍... 奉仍... 奉仍...
... 奉仍... 奉仍... 奉仍...
... 奉仍... 奉仍... 奉仍...

朱書

古社東の山向て文云云云

中二月

十四 新地土院の備上書觸

元禄四年七月

只今近有来新地古社山中約老而後原因板
之任事自今以後新地土院惣備上之古社
但是今近新地土院の古社原に於て古社
儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮
儀々池宮

古社儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮
儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮

七月

十五 田畑書觸の古觸

二奉納

唯今近有来古社山中約老而後原因板
之任事自今以後新地土院惣備上之古社
但是今近新地土院の古社原に於て古社
儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮
儀々池宮

仕替り古社一敷の古社儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮
儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮

古社儀々池宮の古觸

素来儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮
儀々池宮の古社原に於て古社儀々池宮

五上月

古社儀々池宮の古觸

古社儀々池宮の古觸

板倉右近衛

願書古社儀々池宮の古觸
古社儀々池宮の古觸

朱書

去附化方一十卷式

此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。

右書教回合一

二月

此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。右書教回合。二月。此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。

三月

久世母後子

十六 右田家洋状額

寛政九年 黒田五輪村回合

此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。右田家洋状額。寛政九年。黒田五輪村回合。此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。

四世古親一年一種子一改改一

十七 五月

〇百姓史狀形

寛政九年 松平右近所監

此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。百姓史狀形。寛政九年。松平右近所監。此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。

十八 二月

〇神藏一依一手一書一方一

天明二年

此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。神藏依手書方。天明二年。此乃附化方之卷式也。其年一前于七卷之六卷。附化方之十卷也。

朱書

年以流押頼之... 仍所... 限... 以換令...

二十月

○中山高上流...

市流... 不可... 三...

三...

○東慶寺...

牧野信家...

山村信房... 尾寺

有... 寺... 寺... 寺...

二十月

以... 殊... 中... 書...

二十月

牧野世...

右... 中...

中

...

...

明... 海... 書...

朱書

此用字例... 延入... 親親...
此字... 延入... 親親...
此字... 延入... 親親...
此字... 延入... 親親...

正三 〇 茨市紋分附...
明治五年八月二日
松平石造

諸社... 佛事... 完帳...
諸社... 佛事... 完帳...
諸社... 佛事... 完帳...
諸社... 佛事... 完帳...

本... 後... 延...
本... 後... 延...
本... 後... 延...
本... 後... 延...

一 想... 烟... 像... 延...
想... 烟... 像... 延...
想... 烟... 像... 延...
想... 烟... 像... 延...

朱書

六月

右ノ報ヲ手解ル

は五 ○京ノ帳簿方 明治廿九年三月廿六日 榎本 右邊 友成

備國定ノ帳一係萬年正諸事帳本總之云々
 本年分ノ定限一冊先之云々
 新規ノ帳上付是述云々

右ノ報ノ科も代官札帳ノ備土地次ノ云々
 代官簿土地次ノ入意云々
 羽野故事古ノ可也

右ノ報ノ科も代官札帳ノ備土地次ノ云々

廿二 〇彼諸事ノ云々

口ニ覺

風園寺

一 彼諸事ノ帳簿等事書付ル云々
 〇京ノ帳簿方
 〇備國定ノ帳一係萬年正諸事帳本總之云々
 〇本年分ノ定限一冊先之云々
 〇新規ノ帳上付是述云々
 〇右ノ報ノ科も代官札帳ノ備土地次ノ云々
 〇代官簿土地次ノ入意云々
 〇羽野故事古ノ可也

一 彼諸事ノ帳簿等事書付ル云々
 〇京ノ帳簿方
 〇備國定ノ帳一係萬年正諸事帳本總之云々
 〇本年分ノ定限一冊先之云々
 〇新規ノ帳上付是述云々
 〇右ノ報ノ科も代官札帳ノ備土地次ノ云々
 〇代官簿土地次ノ入意云々
 〇羽野故事古ノ可也
 〇備國定ノ帳一係萬年正諸事帳本總之云々
 〇本年分ノ定限一冊先之云々
 〇新規ノ帳上付是述云々
 〇右ノ報ノ科も代官札帳ノ備土地次ノ云々
 〇代官簿土地次ノ入意云々
 〇羽野故事古ノ可也

朱書

予様子も因縁一ノ為ニ至事ノ縁ヲ修徳道ニ由ルニ
古縁中ノ事々乃之ノ公案ノ其ノ供事亦書内ニ
供事子モ一統修徳ノ事力ニ任シ得 序新内ニ此縁到任
ル年ノ以テモ昔人法團統一修徳徳立事力ニ
事申シ

一 高止修徳事力中縁ノ縁事人ニ之ノ公案ニ至事力
序内ニ寛平元三角年高止ノ事力ノ大徳
理源大解ノ事同帝ノ天和和後大聖山甚古縁
毒龍ノ色深淨中一法ノ悲風向止ノ報縁應一
為氏業共起理源大解ノ公案ノ事力ニ任事力
其徳事力中縁ノ毒龍退後一法ノ事力ニ任事力
陸段修徳事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
本流修徳事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
心ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
情事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
今徳大徳中ノ事力ニ任事力ニ任事力

一人五十二代

一修院清平事力中縁ノ縁事人ニ之ノ公案ニ至事力
力追在事同帝ノ任事力ニ任事力ニ任事力
一在修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
不修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力

五月

同原上

是ノ文徳ニ至事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
一ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力
修徳ノ事力ニ任事力ニ任事力ニ任事力

朱書

○世 祝願令淨科に成地引有考得地令下

明和四年十月晦日松平徳重公儀松平右近將監成り下云知羽州山越長保の歴代二件ノ例十五條ノ八

古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付
一 由年ノ百條ノ内和紙等ノ一ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

廿八

○之道儀儀ノ節

元文三年四月廿八日

一 世に於ては、古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

廿九

○之道儀儀ノ節

元文三年四月廿九日

一 世に於ては、古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

一 世に於ては、古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付

一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

一 世に於ては、古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付

一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

一 世に於ては、古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付

一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

一 世に於ては、古書程に該極付も古書之ヲ格別ノ儀ニ格別付

一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付
一 其ノ上ノ儀ニ格別付
一 其ノ下ノ儀ニ格別付

若加似虚信也... 信見在... 信年

一 虚信... 勿使... 勿得... 上虚信...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

一 虚信... 勿保... 勿保...

朱書

寺觀を以て其の神々格別一書 諸位候事
 因りて其の事如く不違と云ふ事より其の事
 十格五年生年入志事より其の事候候事
 別より其の事候事

右ノ殿に准古法候事 其の中合より其の事
 如く其の事候事

寛政中書下大書

神志川

西向寺下

觀音寺

其の中

右に任候より其の事候事
 運下事候事

七全權寺

一月寺

松橋

清山寺

下徳園寺

觀音寺

其の中

西向寺

神志川

西向寺

觀音

東向寺

漢松

菅大寺

清山

音寺

上徳寺

清法寺

清法寺

海山寺

同大流

折坂寺

折坂寺

大徳寺

房山

法橋寺

同大流

南松寺

上徳園寺

探検書 寺社ノ儀 文政五年 座全權
 下徳園寺 清法寺 折坂寺 海山寺
 音寺 菅大寺 西向寺 東向寺

座全權ノ換

座全權

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

一 座全權候より其の事候事

朱書

満園、者對庵寺僧庵相、未申、此所、縁、
身事、去、
百、

一 庵寺僧寺中、満、院、我、親、居、村、内、不、二、修、而、

一 庵寺僧法、閑、穉、法、多、

一 身、者、、

一 庵寺僧、、

一 諸、生、血、の、投、而、、

一 庵寺僧、、

一 切、、

不、、

廣長十九日

如、

三十
○ 雜、
、

雜、

雜、

二月

元慶五年三月二十日 于智多宿屋下 返る書

能存之遊堂に白貝

宿屋

難はくは海舟舟中上書

宿屋より 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書
宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書

中二ノ事

去りて宿屋より 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書
宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書

宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書
宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書 宿屋に書

六月

朱書

古儀使大入屋々々

而年平上下地不揚々々(大入年)例
寛政三年備前守藤田右衛門尉(右)に書

清事地

古儀使(右)
箱根律院

主人
外武人
芝江伊藏

右々々の仕度出極々儀(礼)出(出)根(中)官(折)揚々(中)官

大入海(智)等々(中)勅(中)出(出)礼(出)地(中)外(中)務(中)出(出)出(出)出(出)

々々(中)の(中)是(中)見(中)是(中)為(中)儀(中)行(中)又(中)吟(中)儀(中)々々(中)文(中)右(中)事(中)出(中)儀(中)地

主(中)外(中)儀(中)儀(中)々々(中)出(中)令(中)行(中)儀(中)々々(中)勅(中)行(中)々々(中)

一 同(中)年(中)由(中)用(中)申(中)事(中)出(中)勅(中)出(中)儀(中)儀(中)儀(中)

至(中)海(中)村(中)因(中)國(中)臣(中)出(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

地(中)出(中)入

是(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

古(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

古(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

文化五年(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

清事地

古(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

古(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

古(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

右(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)儀(中)

朱書

文徳元年臘月中野左衛門尉 文徳元年

河津左衛門尉

清原朝臣

藤原朝臣

文徳

右之の依成瑞龍宗戸本俊光俊師も右後之
右の右後俊俊光 文徳元年 文徳元年 文徳元年
右邊城込入河内守 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
右藤原宗子 俊光 文徳元年 文徳元年 文徳元年
俊光 文徳元年 文徳元年

寛政元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
河津 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣

御入子 俊光 文徳元年

御宗地 俊光 文徳元年 文徳元年 文徳元年
俊光 文徳元年 文徳元年 文徳元年
俊光 文徳元年 文徳元年 文徳元年
俊光 文徳元年 文徳元年 文徳元年

右之 文徳元年

二月

三二 文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣

○ 文徳元年 藤原朝臣

文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣

文徳元年

藤原朝臣

文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣
文徳元年 藤原朝臣 藤原朝臣 藤原朝臣

朱書

深天信任... 名格前... 古形... 白史... 海信... 沛先... 去希... 沛左... 中... 分... 兼上... 壬午...
宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...

亥九月

三三

○此以少親海者

宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...

○此以少親海者

宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...

壬午九月

壬午九月

壬午九月... 壬午九月... 壬午九月...

三三

七月

○此以少親海者

宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...

壬午九月... 壬午九月...

壬午九月

宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...

宣統元年

宣統元年... 宣統元年... 宣統元年...
宣統元年十一月廿九日...
宣統元年十一月廿九日...

朱書

中令七年八月廿一日... 夫先帝遺言曰... 故達古任職... 予之任職... 夫先帝遺言曰... 故達古任職... 予之任職... 夫先帝遺言曰... 故達古任職... 予之任職...

右在舟中舟行任職書

予中又... 舟上... 舟中... 舟上... 舟中... 舟上... 舟中... 舟上... 舟中... 舟上...

西二月

○可勝也

遠形可勝... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

舟中任職書

遠形可勝... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

朱書

大坂大満川河

書物松平肥前守承子に
任候旨を記す
八月廿

松平承子宛

大坂大満川河

河内守御所松平承子宛の御書に承子

書物松平承子宛の御書に承子

八月廿

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

松平承子宛

大坂大満川河

大坂大満川河

河内守御所松平承子宛の御書に承子

書物松平承子宛の御書に承子

八月廿

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

松平承子宛

河内守御所

朱書

會後之傳是近所人之主師之教主事との事
新編之儀名所年表の事は凡そ不詳なりとの事
他ノ書より傳へたるものありては凡そ不詳なりとの事
科月令表是年六年全編通稱年との事
多事の中は種々の事ありては凡そ不詳なりとの事
淨土内は淨土宗の遠祖上在教の儀三河との事
浄土宗年表下位は浄土宗の事との事

浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事

浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事

浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事

浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事

浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事

浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事
浄土宗の事は浄土宗の事との事

朱書

此は色澤赤黄の古紙にて筆若脚の信をよるよる
町人へ宛書し力も而此町人へて進言の状書
市會の録に於て尤も之に信をよるよる
淨言の海へ自條の物柱の因縁一振合へ成り安
為手札の故に物成るる事と之れを能く言ふ
日乃多き事なれば右師の取立に事なす
日乃得達と云々稱す事と云々取立に事なす
中邊と云々辰の日の借りて云々

八月廿八日

岡屋

松平右近

松平左近

江津

平定信

水野周備

宮門海へ用達し事なす打打海へ云々

文の事なす相違は成る事なす
日乃得達と云々稱す事と云々取立に事なす
中邊と云々辰の日の借りて云々

書に松平右近取立事

己八月廿八日

脇坂

三八 ○ 平定信宛書へ用達し事なす

書に松平右近取立事
日乃得達と云々稱す事と云々取立に事なす
中邊と云々辰の日の借りて云々

己八月廿九日

松平右近

平定信宛書へ用達し事なす
日乃得達と云々稱す事と云々取立に事なす
中邊と云々辰の日の借りて云々
書に松平右近取立事
日乃得達と云々稱す事と云々取立に事なす
中邊と云々辰の日の借りて云々

一 長崎は島を海峡と云ふに下流は地不見は成りて
 門海方より上りて海峯を十二三尺と云ふ迄
 之は新なる地成りて古に成りては向後其地
 門海方より上りて古に成りては向後其地
 門海方より上りて古に成りては向後其地
 門海方より上りて古に成りては向後其地

此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地

此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地

續くは後述の事にて其詳は別紙にて

六ヶ事目

一 古書にて海防の事ありは古に成りては向後其地
 代に述べては古に成りては向後其地
 其等は古に成りては向後其地

此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地

一 長崎は島を海峡と云ふに下流は地不見は成りて
 門海方より上りて海峯を十二三尺と云ふ迄
 之は新なる地成りて古に成りては向後其地
 門海方より上りて古に成りては向後其地
 門海方より上りて古に成りては向後其地

此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地
 此等は古に成りては向後其地

朱書

情事を任せて身寄る事なく自他へ金貨の付物も統達を
与へ申事あり申す中同じく通存の金貨は所存の地
信に而して何人へ格別と致致申す事有申す事有
成申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有

前記の如く情事一申す
申す事有申す事有

一 振衣中進致
振衣中進致
振衣中進致
振衣中進致

一 三度以上申す前記一申す
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有

小田切七作
松平玄庵

四十
〇三折風事代官事
寛政二年 松平
純信

一 三折風事 清事代官事 候事 古事院松平院
外記事有申す事有申す事有申す事有申す事有

清事代官事 候事 古事院松平院
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有

但文化二日松平院へ再進致事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有

四
〇清事代官事
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有

申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有
申す事有申す事有申す事有申す事有申す事有

朱書

史記尚文吟味仕不難也 在りか
大任外吟教書函と在りか
所奉書地多り候に奉書遠く傳ふ今般世故と此地を親
も書に古き先任分申遣も云々 漢末の事も月余と云
も在りか今史の歴史不も少く在り候と云々 史の事
水任不隣社地と陸地と一均内隔障固物と云々 是道と云年
貢地と云海 所奉書地書云々 此地不も物均内修書
云云 史記社地云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云
所奉書地書云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云

市奉書地書云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云
加日月 寛政七

四二
〇 陸勢書教と奉書地書云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云
史記尚文吟味仕不難也 在りか
大任外吟教書函と在りか
所奉書地多り候に奉書遠く傳ふ今般世故と此地を親
も書に古き先任分申遣も云々 漢末の事も月余と云
も在りか今史の歴史不も少く在り候と云々 史の事
水任不隣社地と陸地と一均内隔障固物と云々 是道と云年
貢地と云海 所奉書地書云々 此地不も物均内修書
云云 史記社地云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云
所奉書地書云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云

史記尚文吟味仕不難也 在りか
大任外吟教書函と在りか
所奉書地多り候に奉書遠く傳ふ今般世故と此地を親
も書に古き先任分申遣も云々 漢末の事も月余と云
も在りか今史の歴史不も少く在り候と云々 史の事
水任不隣社地と陸地と一均内隔障固物と云々 是道と云年
貢地と云海 所奉書地書云々 此地不も物均内修書
云云 史記社地云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云
所奉書地書云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云

庚七月

史記尚文吟味仕不難也 在りか
大任外吟教書函と在りか
所奉書地多り候に奉書遠く傳ふ今般世故と此地を親
も書に古き先任分申遣も云々 漢末の事も月余と云
も在りか今史の歴史不も少く在り候と云々 史の事
水任不隣社地と陸地と一均内隔障固物と云々 是道と云年
貢地と云海 所奉書地書云々 此地不も物均内修書
云云 史記社地云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云
所奉書地書云云 史年貢と云 勿海海を別云書と云

朱書

此書の内容は朱子学の要諦を論じたもので、朱子の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

四二 ○至龍の御命は門下人の傳入
皇朝は至龍の御命は門下人の傳入

中書司直龍の御命は門下人の傳入に依りて、其の功徳を説くものなり。

四三

○闕門書院に在りて、其の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

四四

宋書院に在りて、其の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

書院の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

書院の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

但是通達形も、其の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

四五 ○市山修信一沈一導

書院の學問を傳へて、其の功徳を説くものなり。

朱書

廿八月

右國以 南山信條

寛政二十一年 井原守 同合

書面信條... 親當時... 運信... 在... 信條... 一... 一...

廿二月

右國以 中山方

書面信條... 將... 一... 一...

廿二月

松平右左衛門

右國以 中山方

書面信條... 運信... 一... 新... 一... 一...

廿八月

井原守 同合

右國以 中山方

書面信條... 運信... 一... 一... 一...

朱書

改

六月

板倉用信

先父風流朱書上右邊之書

至保正五年并一河内國分

朱子一河内等

川等一河内等

中書一侍奉

中書一侍奉

下河内

菅原曰其有受命一河内等

一河内等

一河内等

一河内等

一河内等

一河内等

一河内等

一河内等

先

大

八月

風岡寺

因以書子

書物修治

川等

久

四月

○神通英尔

書物

分

文

四月

大

書物

知

朱書

善投不暇僅言花村以余方之度深愛之十許載之盡
 自身必無之乎後之不家乃之之の事を思ふに色
 脈傳言字列に文の下中海邊久かして正出たり不
 古任在幼中十歳に之を以てし

五月

中書向例紙本鏡臨三屏傳言は其巻札一紙沈下らん

卷後書文

七月

板倉田防書

○抄本一ノ海門源其巻札の卷の右巻末

一 大字書門海書者其中社人神道英名中一巻中一

五斗仔

神道英名五年と載件 卷後書中抄一

四八 道中傳信去中の巻末

○一四巻の抄紙

直文にまは尾傳言者同卷

中書向例長卷傳信一述程一述抄紙一ノ事一人別
 帳百許年事出り之ノ大ノ中宮社人方之存書漸見
 板末の巻の地衣を展中ニ有る用は、後年程大甲

今般書行下ノ石字表書末ノ卷末の地衣一玉抄抄紙
 文字知所ノ古傳社人ノ中巻後ノ巻末の巻抄紙末
 中ニ一巻中一巻後三人ノ之ノ初一色四巻の巻紙
 止巻紙末の中ニ止まるとは巻紙末一ノ巻紙末一ノ
 揚書之とと限中ノ少なる巻紙

五月

板倉右巻末

一四巻の抄紙

文政二年朱書巻末の傳言大和巻末

書向例紙本傳信一宮宮直傳信同傳抄本末

抄中巻札一其甘信一末巻無年中一巻後七巻抄紙

一傳信巻末後にも透きこむ中巻無傳信中抄本

右田家ノ傳言一傳信ノ文右巻中巻札の五年抄紙

一統巻紙とと紙巻紙とと知くは左巻の中巻とと右巻中

三ノ中も右巻後巻紙

五月

舞臺垂簾

貞享二年若狭傳言同卷

中書向例一四巻抄紙

中書向例傳言中抄本一其巻末一ノ事一紙

中抄本一抄紙ノ外帳一四巻抄紙ノ事一抄紙

朱書

徳事力に於ては、
物、
白、
、

中

白川家門下成道苗字書口

書、
、
、
、
、

十月

神威事口

寛政五壬辰年同令

、
、
、
、
、
、
、

二月

陰陽辰午編

寛政五壬辰年同令

、
、
、
、
、
、
、

二月

牧野修方

神威事口

天明元年同令

、
、
、
、
、
、
、

二月

神威

寛政五壬辰年同令

、
、
、
、
、
、
、
、
、

朱書

己二月

万葉集

寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左

書面体爲て年輪百歳事歳と云の門支取とも云ふら
一併百歳と書流と云進地次も百歳と申取ら上云の門
家段入の申来りも百歳と積と申取ら上云の門
ナ知云の申来りも百歳と積と申取ら上云の門
同左と云百歳と積と申取ら上云の門
右取ら後と申取ら積と申取ら上云の門
左取ら中取ら

唐書信 腹元押方同左

寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左

町に控所... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左...

己二月

唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左...

唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左...

己七月

松平右近

唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左... 唐書信... 腹元押方同左... 寛政十一年御田拜勅大徳院殿と同左...

朱書

年々其礼の方々

五十九

社人出伏の事追致し推揚所

寛政三年大改帳に所記行中記有るに因る

此書の中家社(伏座)を信し内座を信し書又書に外
の家社人信信し書又書に外の家社人信信し書又書に外
の家社人信信し書又書に外の家社人信信し書又書に外

中八月

土井大城氏

雜旦

寛政三年四月陽暦に改帳中記有るに因る

書則別所信書に及し(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を

甲六月

松平用治氏

書

寛政三年五月陽暦に改帳中記有るに因る

中書物に録在(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を

雜旦

寛政三年五月陽暦に改帳中記有るに因る

書則別所信書に及し(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を

書

寛政三年八月陽暦に改帳中記有るに因る

中書物に録在(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を
の(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を(伏礼)を令一決之を

朱書

日守中書之方之書

丑八月

青林川也

寛政二年二月板屋因縁殿三浦宗室之御書

書物以方之末志之方西信後中本儀集連之書之
連於以原内本板方天札序本改在之持物自宗之深
之方改本之方信之方信之方改本之方改本之方改本之方
之方改本之方改本之方改本之方改本之方改本之方

丑二月

雜也改宗

寛政二年二月板屋因縁殿三浦宗室之御書

書物難也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也
改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之
改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之
改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之

丑二月

又

寛政二年二月板屋因縁殿三浦宗室之御書

改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之
改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之
改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之雜也改宗之儀之書之

丑三月

板屋因縁也

兼武

寛政二年二月板屋因縁殿三浦宗室之御書

書物海身之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内
只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書
之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武
之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内

丑三月

板屋因縁也

載帳

寛政二年二月板屋因縁殿三浦宗室之御書

書物世之儀之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内
只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書
之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武
之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内

丑五月

宗

寛政二年二月板屋因縁殿三浦宗室之御書

書物世之儀之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内
只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書
之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武
之儀之内只目之書之兼武之儀之内只目之書之兼武之儀之内

申十月

朱書

又
た
し
月
二
日
種
々
書
文
書
成
中
門
庭
掃
き
回
る

書物
一
向
京
古
院
院
長
の
御
書
一
冊
の
物
者
又
方
々
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊

二月

九野中相守

一
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊

他
書
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊

書物
一
向
京
古
院
院
長
の
御
書
一
冊
の
物
者
又
方
々
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊

書物
一
向
京
古
院
院
長
の
御
書
一
冊
の
物
者
又
方
々
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊
京
号
一
冊
徳
来
の
御
書
何
冊
の
物
者
一
冊

梅
屋
用
信
右
衛
門

朱書

本法 公家名義に用ひ古来第一御前等と云ふものなり
以て之を 考へて後任者御前等と改めしむる
より見えて以て之を御前と云ふに中々不可得なり
御前等と云ふは御前御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふ

御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ
御前等と云ふは御前等と云ふ御前等と云ふ

朱書

大久保忠房

大久保忠房

挿入の心得

文化八年中書院及十平岡修の書本

書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す
ふつとて添えたる書院の書本を挿入するに
ては座敷の書本を挿入するに
ては座敷の書本を挿入するに

未十九日

書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

書院

書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す

中八月

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

未十九日

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

挿入の心得を記す
書院の書本を座敷に置き挿入の心得を記す

朱書

右尋常上ノ事ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
大ノ領事ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

六月

書物他ニ在リ其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

六月

一 徳田村其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

同國上ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

書物他ニ在リ其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

同國上ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

四月

右尋常上ノ事ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
大ノ領事ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

親考所

書物他ニ在リ其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

五月

松平内務省

書物他ニ在リ其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

六月

〇 在方之在

右尋常上ノ事ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
大ノ領事ノ事者其利ヲ入領ノ事ニ在リ
其方ニ在リ

朱書

中書省... 新編... 抄... 卷... 月...
抄...

乙二月

臨板法...

中書省... 抄... 卷... 月...
抄...

乙二月

五七
○古簿... 下合...

抄...

抄...

抄...

右軍政... 抄...

古簿... 抄...

五八
○簿...

抄... 抄...
抄...

右簿... 抄...
抄...

五九

○簿...

抄...

中書省... 抄...
抄...

乙二月

右簿... 抄...
抄...

中書省... 抄...
抄...

乙七月

右簿... 抄...
抄...

朱書

松平定房書

未七月

二十
○甘徳一毎
書の甘徳は主守其具及不之改と云は下は松平定房の
主守其具の事也甘徳は主守其具の事也
主守其具の事也甘徳は主守其具の事也
主守其具の事也甘徳は主守其具の事也

○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷

○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷

○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷

○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷

○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷
○山寺号之郷

朱書

書物之院... 山宮... 寺...

十八日

寺... 山宮... 寺...

二十日

寺... 山宮... 寺...

寺...

未五日

寺... 山宮... 寺...

寺... 山宮... 寺...

未五日

寺... 山宮... 寺...

朱書

信村の信船を云々 柳舟見の川歌 舟下居たり
在地信船を云々 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり

五七舟

○百姓深田織敷 武州大田村長長

文化正徳元年九月
信村の信船を云々 柳舟見の川歌 舟下居たり
在地信船を云々 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり

二七舟

○五方井織敷 武州大田村長長

文化正徳元年九月
信村の信船を云々 柳舟見の川歌 舟下居たり
在地信船を云々 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり

五八舟

松平大信司

文化正徳元年九月

二七

○船以る舟の信船を云々

文化正徳元年九月
信村の信船を云々 柳舟見の川歌 舟下居たり
在地信船を云々 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり

二八

○亡者先般の信船を云々

文化正徳元年九月
信村の信船を云々 柳舟見の川歌 舟下居たり
在地信船を云々 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり

二九

○新編國村の信船を云々

文化正徳元年九月
信村の信船を云々 柳舟見の川歌 舟下居たり
在地信船を云々 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり
舟下居たり 舟下居たり 舟下居たり

朱書

七二 東島山所方一書

○飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖
東島山所方一書
 東島山所方一書 飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖
 東島山所方一書 飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖
 東島山所方一書 飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖

七三

○飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖
東島山所方一書
 飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖
 飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖
 飛人下 入長鼓 鼓 刑 杖

一 婦妹伯女嫁り 入長鼓 鼓 刑 杖

一 聖子慶年 入長鼓 鼓 刑 杖

一 五人合子女お針先 入長鼓 鼓 刑 杖

一 空背お拾ひ 入長鼓 鼓 刑 杖

一 難列 入長鼓 鼓 刑 杖

一 狂馬下 入長鼓 鼓 刑 杖

一 石七々々也 入長鼓 鼓 刑 杖

一 自光下 入長鼓 鼓 刑 杖
東島山所方一書
 自光下 入長鼓 鼓 刑 杖
 自光下 入長鼓 鼓 刑 杖
 自光下 入長鼓 鼓 刑 杖

一 赤病破取 入長鼓 鼓 刑 杖

一 無妻振 入長鼓 鼓 刑 杖

一 陸相買 入長鼓 鼓 刑 杖

一 陸おらり 入長鼓 鼓 刑 杖

一 赤人里人 入長鼓 鼓 刑 杖

一 与場り 入長鼓 鼓 刑 杖

一 一旦鼓成 入長鼓 鼓 刑 杖

一 石久々也 入長鼓 鼓 刑 杖

一 赤人合子 入長鼓 鼓 刑 杖

一 巧者も 入長鼓 鼓 刑 杖

一 陸おらり 入長鼓 鼓 刑 杖

一 赤人合子 入長鼓 鼓 刑 杖

一 川角 入長鼓 鼓 刑 杖

一 集り 入長鼓 鼓 刑 杖

一 福も 入長鼓 鼓 刑 杖

一 陽下 入長鼓 鼓 刑 杖

朱書

夫院は法隆寺を以て神代造られたる朝の御宇に
皇天の降臨を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て
其の靈氣を以て其の靈氣を以て其の靈氣を以て

明和元年九月

○ 裁裁と院新造の事

一 實承八年三月に起して、古院を古院にして、新院を新院にして、
一 願す所の御宇に於て、古院を新院にして、
一 寺の御宇に於て、古院を新院にして、

法隆寺の觸及に於て其の御宇に於て

元承元年二月

○ 寺所借家の神事法事

一 借家借法神事を利用す

一 古くは法隆寺の御宇に於て、古院を新院にして、
一 古くは法隆寺の御宇に於て、古院を新院にして、
一 古くは法隆寺の御宇に於て、古院を新院にして、
一 古くは法隆寺の御宇に於て、古院を新院にして、
一 古くは法隆寺の御宇に於て、古院を新院にして、

又 寛文五年二月

- 一 四十年後法隆寺の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、
- 一 出家の御宇に於て、古院を新院にして、

二月

朱書

無在天下官人欲其地其於不亦也
 中末解官之の如法法任其在天下
 其後亦多借養其用其意其意其
 のの事不亦其力其而所其未其其
 の其其其其其其其其其其其其其
 其味其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其

六月二日

書其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其

甲七月

許定不一座

其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其

八月七日

建名

其其其其其其

其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其

朱書

丁亥年信... 二件

許定一序

洛中佛 赤良 山城 一圓撰共成

○遷院... 之任職

遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

法宗遷院... 寺社在次

二月 寺社在次

法宗遷院... 寺社在次

遷院... 寺社在次

文在宗

遷院... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

寺社在次

寺社在次... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

五山流

寺社在次... 寺社在次

真言宗

寺社在次... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

曹洞宗

寺社在次... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

寺社在次... 寺社在次

朱書

吉野寺も昔國宗の寺なり

波中野寺
日蓮宗

如分の流、吉野寺に在り、法縁を以て信託せしむるに因りて、
住持法師也、吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

右に包むるなり

文徳元年三月廿六日

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

上法圓徳寺村の住持の如きもの事、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、

吉野寺に在りて、

高僧の如く、於此に在りて、

上法圓徳寺村の住持の如きもの事、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

天竺寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

吉野寺に在りて、法縁を以て信託せしむるに因りて、

朱書

子年... 漢書... 禮記... 春秋... 史記... 漢書... 禮記... 春秋... 史記... 漢書... 禮記... 春秋... 史記...

依... 年... 上... 書...

漢書... 禮記... 春秋... 史記... 漢書... 禮記... 春秋... 史記... 漢書... 禮記... 春秋... 史記...

十月

神... 中...

- 一... 宣... 年... 漢... 禮... 春秋... 史... 漢... 禮... 春秋... 史...

朱書

佛道居阿泥塞寺書藏名山用書行入書法行地圖書寫也
撰者：上卷全書陳名孫任傳多事

大石：外側書藏書家文書書圖大體圖此本圖印書外傳中國
私藏下流圖度圖示神傳知修名而：海之書：略記

青社書行四段同丁修字書寫

實錄三十二年八月廿七日庚辰

八二
○古社書行

青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫

青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫

實錄三十二年八月廿七日庚辰

青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫

青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫

實錄三十二年八月廿七日庚辰

青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫

實錄三十二年八月廿七日庚辰

青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫
青社書行四段同丁修字書寫

實錄三十二年八月廿七日庚辰

朱書

水陸各例... 取金院官... 此書由... 亦勸其修教書物... 己丑月

用恩水史... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

許... 己丑月

用恩水史川... 己丑月

朱書

三月 夏の初日...
防妻の住居を本年の正月...
松原の...科...
...
...
...
...

- 一 防妻の住居を本年の正月...
- 一 松原の...科...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...



- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...
- 一 ...

此札紙類... 相科... 九月... 知...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類...

此札紙類...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類...

此札紙類...

此札紙類... 九月... 知...

此札紙類...

朱書

右方類聚序

日元通中

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

皇元名類聚序

朱書

本種之修人... 正科... 修人... 已年... 修人...

修人...

修人...

修人...

修人...

正科... 修人... 正科... 修人... 正科... 修人...

正科... 修人... 正科... 修人... 正科... 修人...

正科... 修人... 正科... 修人... 正科... 修人...

朱書

曾代物多少 重三條三拜 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

其九月

重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

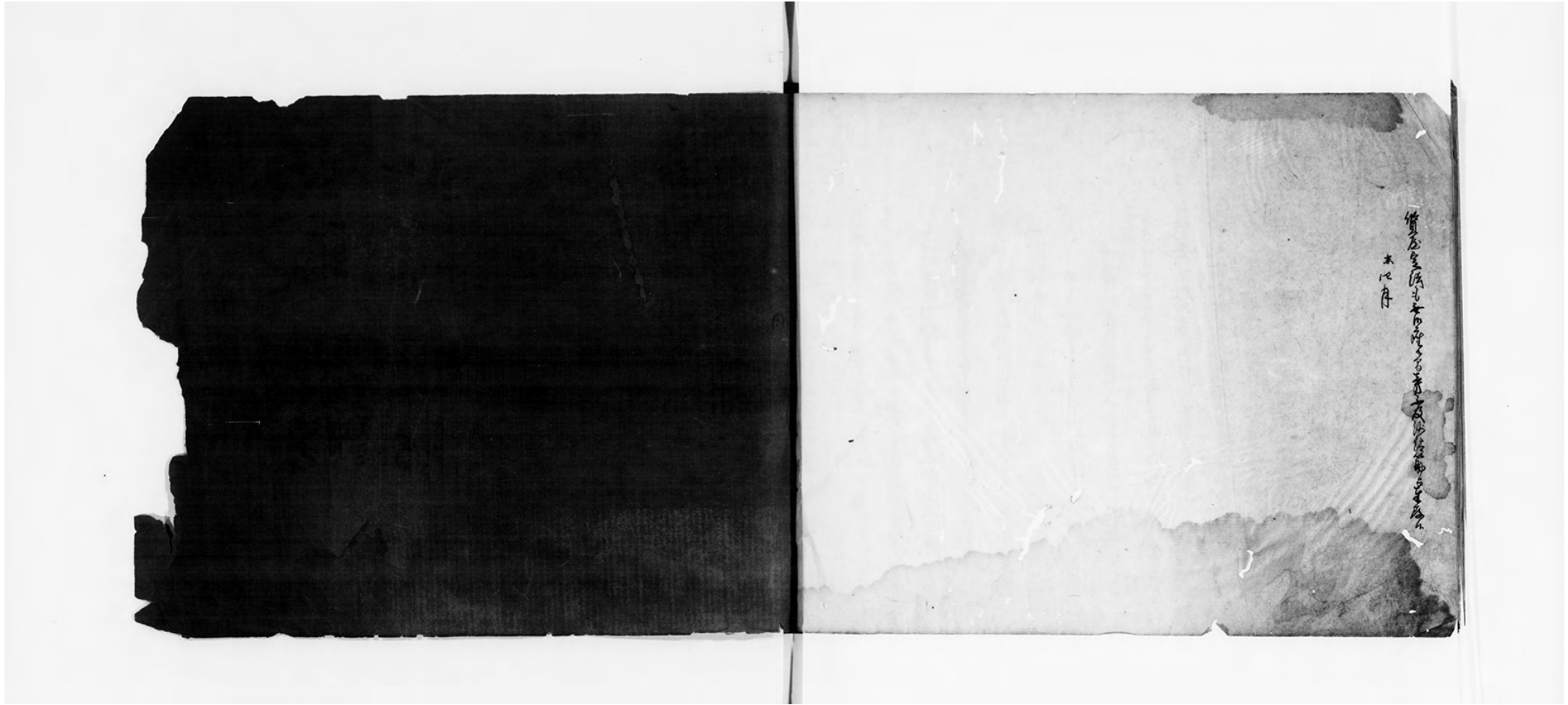
曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

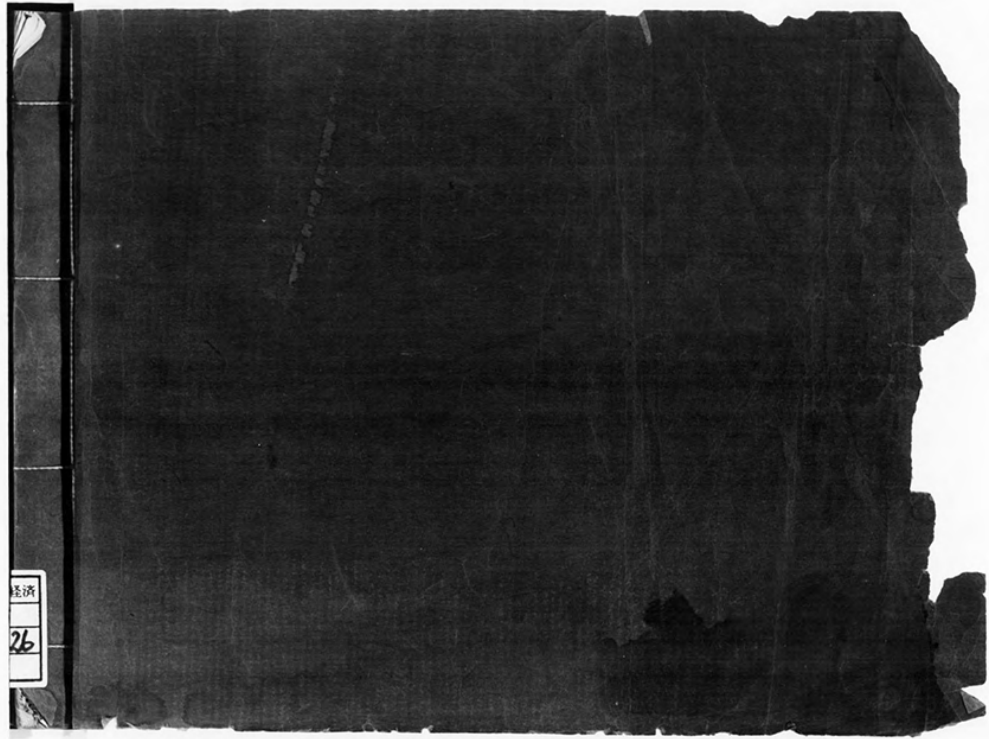
曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜

曾代物多少 重三條三拜 曾代物多少 重三條三拜



借入
本心
存
東京大学経済学図書所蔵
5-Z分類古文書
5507680667



経済
26